令和元年７月１９日

　　　出場希望チーム　各位

北海道軟式野球連盟苫小牧支部

支部長　澁　谷　敏　昭

第１回たいせつ総合サービス杯軟式野球大会の開催について（ご案内）

このことについて、２０年の永きにわたり開催してきたトヨタ自動車北海道杯は、昨年度をもって一区切りとなり新たにたいせつ総合サービス㈱様の支援をいただき、再スタートを切ることになりました。

大会スタイルは以前と同じ日曜日に開催し、８月２５日から９月２９日まで約１カ月にわたりトーナメント戦を行います。

主催者のオーナー（大野順治社長）は、北海高校、北海学園大学、苫小牧市役所で白球を追いかけた球児で、根っからのスポーツ好きで今回トヨタ杯を引き継いでいただきました。昨年までマスターズのチームを率い、今なお同社名で朝野球チームを抱え生涯スポーツを下支えしているオーナーであり、今大会が社会貢献の一環として地域に根差した大会となるようオーナーの意を受け、当支部として継続して運営できるよう努力していきたいと思います。

つきましては、本大会の監督会議及び開会式を下記のとおり行いますので、参加希望チームは時間厳守の上ご出席されますようご案内申し上げます。

　なお、会場の確保の観点から出場の可否を事前に把握しますので、下記「参加可否連絡票」を期日までにFAX等で連絡願います。

また、連絡がなければ不参加として取り扱いますので、ご承知おき下さい。

記

１　監督会議

(1)日　　時　　　令和元年８月７日(水)　午後6時

(2)会　　場　　　白鳥王子アイスアリーナ会議室（若草町）

(3)参加料　　　１０，０００円　(当日持参願います)

２　登録用紙　　　 別紙｢登録用紙｣を当日必ず提出願います。

|  |
| --- |
| ※事務局　苫小牧市双葉町1-14-3　渡辺　実　(FAＸ　0144-34-8644) |
|  |

第１回たいせつ総合サービス杯軟式野球大会参加可否連絡票

（期日７月３１日）

○　参加します。　　　○　参加しません。

※　いずれかに、チェックをお願いします。

チーム名

(連絡責任者氏名　　　　　　　　　　　 　　Tel　　　　　　　　　　　　)

第１回たいせつ総合サービス杯争奪

サンデー・ベースボール・チャンピオンシップ開催要項

１　主　　催

たいせつ総合サービス株式会社

２　主　　　管

北海道軟式野球連盟苫小牧支部

３　会　　期

令和元年８月２５日から９月２９日までの期間の日曜日に行う。

ただし、日程に無理が生じた場合、土曜日、祝日の開催もありうる。

４　会　　場

苫小牧市内球場、支部管内町営球場他

５　出場チーム

1. 出場チーム数は概ね２０～２４チームとし、超えた場合は、日程を勘案し可能な限り参加を認める。
2. 本大会のために編成し大会登録届を提出したチームとし、メンバーは監督･主将を含め３０名以内とする（ベンチ入りは２０名）。ただし、支部登録Ａ・Ｂ級単独チームの出場は不可とする。
3. 社会人野球１名・大学野球連盟（札幌・北海道学生野球連盟）２名、連盟Ａ級登録選手２名の計５名以内の登録を認め、当日ベンチ入り選手は２名以内とし、バッテリーのポジションにはつけない。なお、４０歳以上の選手は制限しない。（年齢基準日：２０１９年４月１日現在４０歳に達しているもの）

６　適用規則

1. ２０１９年公認野球規則及び競技に関する連盟特別規則並びに北海道大会に係わる事務処理要項を準用する。

　⑵　本大会に限り７回同点の場合、直ちにタイブレーク方式（無死一・ニ塁･継続打順)を行う。この場合、準々決勝までは１回とし同点の場合抽選とする。準決勝以上は決着がつくまで行う。

７　監督会議

令和元年８月７日（水）午後６時　白鳥王子アイスアリーナ会議室（若草町）

８　組合せ抽選

監督会議の席上で行う。

９　開会式

監督会議を開会式と位置付ける。

10　表　　　彰

優勝・準優勝チームには、賞状・カップ（持ち回り）･レプリカ（取りきり）・副賞を授与する。また、個人賞（最優秀、優秀、敢闘及び勝利監督賞）も授与する。

11　大会参加料

１チーム１０，０００円とし、監督会議の際に納入すること。

12　使用球

全日本軟式連盟公認球Ｍ号を使用する。（主催者が用意する）

※1　競技に関する連盟特別規則並びに北海道大会に係わる事務処理要項の主なもの

１　正式試合

７回戦とする。ただし、コールドゲームになる試合の回数は５回とする。なお、得点差によるコールドゲームは７点とする。

２　その他

開始時間前でも、審判、選手がそろったら試合を開始する。